

日本共産党
流山北部後援会

ニュースあすなる

2020年3月
第253号

発行責任者

菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
小倉 卓郎
TEL/FAX
7155-0272
(部内資料)

科学的根拠でコロナ封じ込め対策を

新型コロナウイルスは世界中での感染拡大で人も経済も大打撃を受けています。安倍政権は緊急事態宣言を盛り込んだ「新型コロナウイルス感染症対策特別措置法」改正を強行しました。発動要件がいまのまま緊急事態宣言が発令されれば、私権が大幅に制限される危険があります。今も学校の一時休校・イベント自粛・不要不急の外出をさける等で国民の暮らしが大きく制限されています。安倍政権に更なる権限を与えることになりそうです。これまでも、専門家の意見も聞かず、身勝手な解釈を閣議決定、内閣にも相談せず独断で会見し、発言。国会も通さず緊急事態宣言が出されることも十分考えられます。この間マスク不足や医療機関の困惑、デマや詐欺等が国民を混乱させています。デマや偽情報に惑わされず冷静に対処していきましょう。今求められているのは医療体制の強化・経済対策です。コロナ封じ込めの対策を科学的根拠で確立し、国民の困窮に手を差し伸べる政策を打ち出して欲しい。経済的裏付けのない言葉だけのパフォーマンスに国民はうんざりしています。困っていること黙っていないで声をあげて！

3月議会 党派を超えた風が

2020年度予算が審議される3月議会が2月20日から開催されています。12月議会でも可決された「流山市総合計画」の初年度となります。コロナウィルスによる新型コロナウイルスの流行で市議会

植田議員は①全世代型社会保障と介護保険制度

傍聴記

改革。②公設火葬場。③ひとり親家庭の医療費助成の3点について質問しました。④野党共闘が現実味を帯び新しい政治の幕開けとなる第一歩だと感じて、非常に楽しみにしている一人です。令和2年度第

第33回 植田和子議会報告会

4月26日(日)

午前10:00~12:00

場所 北部公民館第2会議室

3月議会そしてコロナウィルス関連を話し合います。

※コロナの感染拡大状況次第で中止にさせていただきます。

こんにちは 植田和子です



3月4日 流山市議会は執行部も議員もフルコーラ消毒を欠かさず、マスク姿で毎日議会が行われています。

そんな中、2月27日、私の一般質問が無事に終わりました。こんな状況にもかかわらず、たくさんの方に傍聴に来ていただき、本当にありがとうございました。

議会報告会を4月26日に予定していますが、万が一コロナ感染予防のため開催できなくても、質問で取り上げた介護保険も、火葬場も、ひとり親家庭の医療費現物給付化も、どれもこれからの話なので、追ってお知らせ向きに考えます」...

と。改めて驚いています。問題の把握と分析、対策まで考えて欲しいと思います。

◎「前回と今回も傍聴して、植田和子さんがとても落ち着いていた。質問も意図を持って良かった。」 江戸川台東 S

ヘッドライト

14世紀、モンゴルが西欧までの支配を拡大した中で、西欧全体にペストが大流行し、人口の三分の一とも半数とも言われる人々が死亡し、国家の機能もマヒし、経済も衰退した。19世紀にはコレラが大流行し西欧の各地で10万人規模の死者が出た。もともとインドの風土病だった英国によるインドの植民地支配で西欧に広がったのだ。衛生思想も医学も設備も。疫病と人々は神の怒りを恐れ、悪霊のたたりを恐れ、ひたすら祈る。明治19年三菱の高島炭鉱でコレラが大流行した時、感染を恐れた会社側は死者だけでなくコレラにかかった者は生きていても鉄板の上で5人ずつ焼いたとも言われ61人が死亡した。炭鉱労働者は人間扱いでなかったのだ。こうした野蛮な時代とは違う。中国は今回武漢でわずか10日で千床の病院を作ったというが、日本には優れた医学、医療もある。経済力もある。総力を挙げて民を守るために取り組む姿勢と仕組みが必要ではないか。

感染症に立向う

集団パニックにならないで!!

州がコロナ緊急対策で休校にした、ミラノのアレッサンドロ・ヴォルタ高校のドメニコ・スクイラーチェ校長が、生徒たちへのメッセージを同校のネット掲示板に掲載しました。概略を紹介します。

『親愛なる生徒たち。君たちに伝えたい。冷静さを保ち、集団パニックに巻き込まれないでください。基本的な対策(手洗いうがいなど)を怠らず日常生活を続けてください。この機会を利用して散歩をしたり、良質な本を読んでもください。体調に不備がなければ家にこもっている理由はありませんが、スパーや薬局に殺到しマスクを探しに行く理由もありません。マスクは病気の人の必要なものです。』

目に見えない敵に脅かされた時、人間の本能は、あたかもそこらじゅうに敵がいるかのように感じさせ、私たちと同じ人々までもを脅威とみなしてしまう危険があります。現代の私たちには確実に進歩し続ける医学があります。社会と人間性、私たちの最も貴重な資産であるこれらを守るために、文明的で合理的な思考をしましょう。』と。

日本でも子ども達が国のコロナ対策のための休校でストレスを溜めています。もちろん大人も。世界中が知恵を、知識を、技術を出し合っている危機を乗り越えて行く事が期待されます。自国

原発事故を風化させない!

「ニュースあすなろ」は紙面左側に、「再稼働やめ原発から撤退を!!」のスローガンを掲げ「福島原発事故」を風化させてはいけなく常に訴えています。

私の故郷は福島県の北部です。原発事故が少しでも宮城県よりだったら大変な事態になっていたのではと、今でもぞっとする思いです。

電力会社は福島を忘れたかのように安全審査が通ったと再稼働を企んでいます。原発は「コストが安い」と言いますが、「原発追加安全対策費」が5兆4千億円ととても膨らみ、社会保障費を圧迫しているのでは

原発事故から今年9年になりますが、いまだに4万人が避難生活を強いられています。ようやく常磐線が開通し双葉町も一部避難解除などと言

われいています。安倍首相も早速、開通した列車に乗ってパフォーマンスをしていますが、復興復興と軽々しく言っているだけではありません。インフラ整備はされても除染はまだまだ遅れていますし、汚染水や土壌の処理も大変な問題です。

東深井・菊池伍郎

コロナウィルスの影響で確定申告の〆切が4月15日まで延長されました。

突然のごみ処理手数料の今年4月からの値上げにびっくりしています。クリーンセンターへの家庭からの持ち込みは現行10kgあたり165円が300円になります。剪定枝を受け入れているエコセンターでは、今まで10kgあたり110円だったのが3倍近い300円になります。200kg出したものが6000円にもなってしまう。流山市報では事業系だけであり、家庭廃棄物の変更にということですが、造園業者であれ、シルバー



デンマーク製の風車で赤字解消

桤原と四万十をめぐる旅

原発の再稼働が無理矢理進められている。16歳の少女グレッタさんの訴えが世界を動かしている。エネルギー自給を目指す高知県の山間の町「桤原(ゆすはら)」と四万十をめぐる「伊藤千尋氏企画のツアー」に参加した。

国の補助金で前市長が建てたフレンチリゾートの豪華施設の赤字が膨らんでいく中で97年新しく町長になった中越氏は91%が森林という特徴を活

「ごみ持ち込み手数料値上げ」にビックリ

人材センターであれ、値上げされた剪定枝の持ち込み料金は家主に請求するわけで、結局は各家庭の負担になります。このようなことが日本共産党の4名とあと2名、合計6名の反対、賛成21名で先の市議会が決まっています。先の手間もかなりかかります。

流山市はグリーンを大切にすることをうたっているわけですから、緑を保持している家庭に負担増を求めるのではなく、逆に庭の剪定に補助金を出すくらいのことをしてほしいものです。

西深井 S

あすなろ川柳

パフォーマンス だけじゃ勝てない

ウイルス戦争 科学、医学、世界の知恵を集めてこそ

無表情 嘆息もなき

国技館 改めて応援の力を知るスポーツの世界

ミサイルを 撃てど 振り向く人もなし

キム劇場は観客の関心がコロナに移って効果なし。

石林昭子